

ネイティブ牛ホスホジエステラーゼ 3',5'-シクル酸スクレオチド活性化因子欠損

Cat. No. NATE-0514

Lot. No. (See product label)

はじめに

作用

サイクリックスクレオチドーリン酸 (cAMPやcGMPなど) の3',5'-ホスホジエステル結合を加水分解し、置換するスクレオチド5'-リノ酸に置換します。

用途

環状スクレオチドホスホジエステラーゼは、カルモジュリンおよびCa2+の機能としての活性化メカニズムについて調査されています。また、環状スクレオチドホスホジエステラーゼの活性化因子へのトリフルオペラジンの結合が活性を10倍以上増加させることを示す研究にも使用されました。カルモジュリン (P 0270) アッセイでの使用のため。カルモジュリンが存在しない場合、活性は50%未満に低下します。

別名

サイクリック3',5'-モノスクレオチドホスホジエステラーゼ; PDE; サイクリック3',5'-スクレオチドホスホジエステラーゼ; サイクリック3',5'-ホスホジエステラーゼ; 3',5'-スクレオチドホスホジエステラーゼ; 3':5'-サイクリックスクレオチド5'-スクレオチドヒドロラーゼ; 3',5'-シクロスクレオチドホスホジエステラーゼ; サイクリックスクレオチドホスホジエステラーゼ; 3',5'-サイクリックスクレオシドモノリン酸ホスホジエステラーゼ; 3':5'-モノリン酸ホスホジエステラーゼ (サイクリックCMP); シチジン3':5'-モノリン酸ホスホジエステラーゼ (サイクリックCMP); サイクリック3',5'-スクレオチドモノリン酸ホスホジエステラーゼ; スクレオシド3',5'-サイクリックリン酸ジエステラーゼ; スクレオシド-3',5'-モノリン酸ホスホジエステラーゼ; EC 3.1.4.17

製品情報

種

ウシ

由来

牛の心臓

形態

凍結乾燥粉末 (イミダゾールバッファー塩と硫酸マグネシウムを含む)

EC番号

EC 3.1.4.17

CAS登録番号

9040-59-9

分子量

mol wt ~60 kDa

活性

>0.1 ユニット/mg タンパク質 (活性化剤追加)

緩衝液

50%グリセロールで再構成してください。酵素の総活性単位は、-0°Cで保存した場合、少なくとも5日間は一定に保たれます。ただし、活性化因子欠乏活性は最大200%まで増加する可能性があります。4°Cで保存した場合、活性化された活性と活性化因子欠乏活性の両方が、24時間で約30%減少する可能性があります。

機能

カルシウムおよびカルモジュリン調節の3',5'-サイクリックGMPホスホジエステラーゼ活性; カルモジュリン依存性サイクリックスクレオチドホスホジエステラーゼ活性; タンパク質結合

単位定義

1ユニットは、pH 7.5、30°Cで1分あたり1.0 μmoleの3':5'-サイクリックAMPを5'-AMPに加水分解します。

使用法とパッケージング

包装

アクティピュニットに基づくパッケージサイズ

保存方法

-20°C